

# 法人の概要

## 建学の精神

本学苑は仏教精神を基として宗教的情操を培い、人間性豊かな社会人を育成することを建学の精神としている。



## 教育方針

### 短期大学

本学では「教育基本法」ならびに「学校教育法」にのっとり、本学の建学の精神・教育の理念に基づいて、少子化・子育て困難、超高齢化、そしてIT化が進行する現代社会からの要請にこたえ、高度な専門知識や技術・技能を身につけて「やわらか心」で地域社会に貢献できる保育者、介護福祉士、オフィスワーカーを育成することを教育目標としている。



### 中・高等学校

真宗高田派の宗門立学校として、言行忠信・表裏相応を校訓とし、仏教教育による人間味の豊かさを深め、規律精神を基とした行動力の育成と基礎学力の充実錬磨につとめ、広い視野から社会に貢献できる人材の養成をめざした教育を行っている。また、中学校・高等学校一貫六年制コースを設置し、高い水準の学力と知的な生徒を育成している。



## 設置する学校、定員及び現員

- ◆ 高田短期大学 三重県津市一身田豊野 1 9 5
- ◆ 高田高等学校 三重県津市一身田町 2 8 4 3
- ◆ 高田中学校 三重県津市一身田町 2 8 4 3

(令和6年5月1日現在)

高田短期大学					
学科名	入学定員	収容定員	1年生	2年生	合計
子ども学科	150名	300名	145名	136名	281名
キャリア育成学科	100名	200名	111名	91名	202名
〔 オフィスワークコース	〔 60名	〔 120名	〔 70名	〔 59名	〔 129名
〔 介護福祉コース	〔 40名	〔 80名	〔 41名	〔 32名	〔 73名
合 計	250名	500名	256名	227名	483名

高田中・高等学校						
	募集定員	収容定員	1年生	2年生	3年生	合計
高田高等学校	570名	1,695名	578名	607名	577名	1,762名

(学則定数 730名)(3ヵ年計 2,190名)

	募集定員	収容定員	1年生	2年生	3年生	合計
高田中学校	190名	570名	195名	205名	197名	597名

(学則定数 240名)(3ヵ年計 720名)

## 役員・評議員

(令和6年5月31日現在)

理事		定数10名 実数9名	
区分	氏名	現職等	
第1号 宗務総長	増田 修一	真宗高田派 宗務総長	
第2号 学苑長 短大学長 中・高校長	梅林 久高	学校法人高田学苑 理事長（学苑長）	
	清水谷 正尊	高田短期大学 学長	
	福山 茂	高田中・高等学校 校長	
第3号 評議員	井村 正勝	井村屋グループ（株） シニア・フェロー	
	永井 玲子	医療法人永井病院 理事	
	志田 行弘	三重テレビ放送（株） 相談役	
	岩崎 克彦	医療法人思源会 理事相談役	
	松田 英明	三重牛セキ販売（株） 代表取締役社長	

監事		定数2名 実数2名	
区分	氏名	現職等	
監事	下津 和文	下津醤油（株） 代表取締役会長	
	山中 利之	山中利之税理士事務所 公認会計士・税理士	

評議員		定数21～25名 実数22名	
区分	氏名	現職等	
第1号 宗務総長	増田 修一	真宗高田派 宗務総長	
第2号 学苑長 短大学長 中・高校長	梅林 久高	学校法人高田学苑 理事長（学苑長）	
	清水谷 正尊	高田短期大学 学長	
	福山 茂	高田中・高等学校 校長	
第3号 法人職員	福西 朋子	高田短期大学 子ども学科長	
	野呂 健一	高田短期大学 キャリア育成学科長	
	眞岡 康光	高田中・高等学校 教頭	
	箕田 昭子	高田中・高等学校 教頭	
第4号 功労者	井村 正勝	井村屋グループ（株） シニア・フェロー	
	岩崎 克彦	医療法人思源会 理事相談役	
	千草 篤麿	（福）高田真善会 理事長	
	小柴 弥生	小柴産業（株）	
第5号 卒業者	松田 英明	三重牛セキ販売（株） 代表取締役社長	
	倉田 栄治	（株）津ドライビングスクール 代表取締役	
	伊藤 博康	（有）平治煎餅本店 代表取締役	
	稲田 直子	高田短期大学育児文化研究センター 学外研究員	
第6号 本山総務	弓削 弘嗣	（宗）真宗高田派総務	
第7号 学識経験者	永井 玲子	医療法人永井病院 理事	
	志田 行弘	三重テレビ放送（株） 相談役	
	雲井 敬	三重交通グループホールディングス 監査役	
	浜田 吉司	I Xホールディングス（株） 代表取締役	
	山田 瞳	楠井法律事務所 弁護士	

# 教職員数

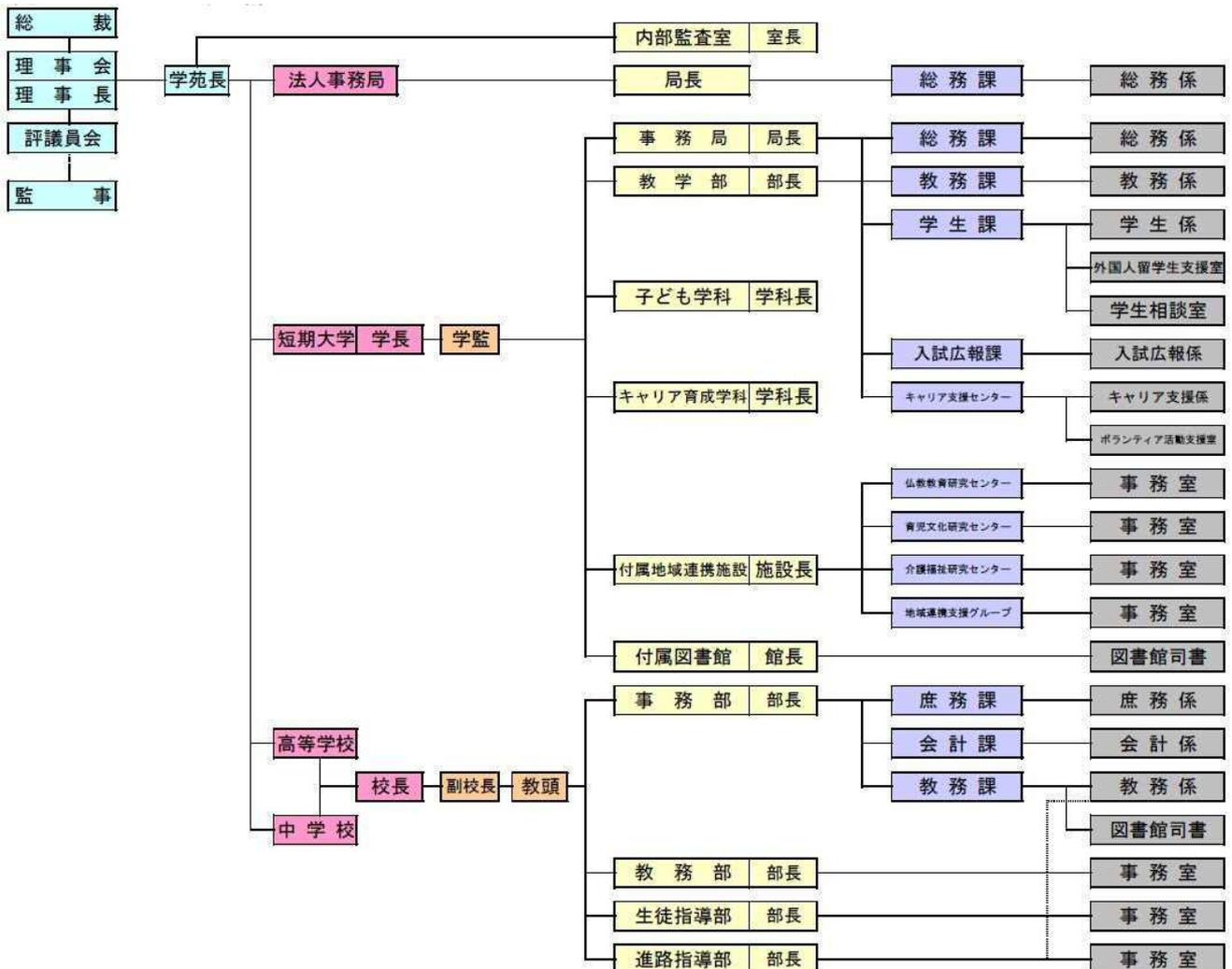
(令和6年9月1日現在)

		教 員		職 員		合 計
		本務教員	兼務教員 嘱託・非常勤 等	本務職員	兼務職員 嘱託・非常勤 等	
本 部		—	—	5名	4名	9名
短 期 大 学	子ども学科	15名	27名	15名	8名	65名
	キャリア育成学科	11名	38名	7名	7名	63名
	オフィスワークコース	〔 7名	〔 20名	〔 6名	〔 3名	〔 36名
	介護福祉コース	〔 4名	〔 18名	〔 1名	〔 4名	〔 27名
高等学校		96名	37名	8名	15名	156名
中学校		31名	15名	3名	2名	51名
合 計		153名	117名	38名	36名	344名

(注) 学苑長は学苑本部の本務職員に、短大学長は子ども学科の本務教員に含む。

また、短大の兼務教員数には非常勤講師の後期採用者も含む。

# 組織構成図



## 校舎敷地及び建物等の概要

区分	専用面積㎡	計面積㎡	所在地	権利の所属	備考	
短期大学用地	校舎敷地	7,399	7,399	津市一身田豊野	自己所有	
	運動場用地	5,921	5,921	〃	〃	
	学生用駐車場用地	2,392	2,392	〃	〃	
	その他	3,279	3,279	〃	〃	緑地等
	計	18,991	18,991			
上記以外の学校用地	中学校校舎敷地	1,274	1,274	津市一身田町他	自己所有	内 借用588㎡
	高等学校校舎敷地	15,180	15,180	〃	〃	内 借用578㎡
	中学校運動場用地	14,481	14,481	〃	〃	
	高等学校運動場用地	49,169	49,169	〃	〃	内 借用3,275㎡
	その他	9,875	9,875	〃	〃	内 借用1,663㎡
	計	89,979	89,979			
合計	108,970	108,970				
校地以外の土地	61,913	61,913	津市芸濃町河内	自己所有	山林	

### 短期大学の部

区分	面積㎡	室数	構造	権利の所属
1号館	3155.60	33	鉄筋コンクリート造陸屋根5階建	自己所有
2号館	4163.75	38	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建	〃
3号館	1743.64	15	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
音楽棟	858.82	23	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
図書館	803.19	8	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
体育館	1983.96	15	鉄筋コンクリート造アルミニューム板葺3階建	〃
部室	31.68	2	鉄骨造2階建	〃
その他	16.98			〃
計	12757.62	134		

### 法人本部、高等学校・中学校の部

区分	面積㎡	室数	構造	権利の所属
本館	4721.83	36	鉄筋コンクリート造陸屋根7階建	自己所有
1号館	2722.10	25	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
2号館	2155.05	21	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
3号館	2609.31	13	鉄筋コンクリート造切妻屋根5階建	〃
4号館	3125.59	16	鉄筋コンクリート造切妻屋根5階建	〃
5号館	4113.15	29	鉄筋コンクリート造切妻屋根5階建	〃
管理棟1	207.23	5	鉄骨造ルーフィングぶき2階建	〃
管理棟2	98.88	4	鉄骨造ルーフィングぶき2階建	〃
厩舎棟	396.00	8	鉄骨造ルーフィングぶき2階建	〃
第1体育館	3819.78	16	鉄筋コンクリート造陸屋根3階建	〃
第2体育館	1889.03	12	鉄筋コンクリート造切妻屋根3階建	〃
第3体育館	2081.54	6	鉄筋コンクリート・鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき2階建	〃
クラブハウス1	422.10	29	鉄筋コンクリート造2階建	〃
クラブハウス2	162.00	11	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建	〃
施設管理棟	122.40	4	鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき平屋建	〃
その他	152.38			〃
計	28798.37	235		
合計	41555.99	369		

備考（その他／機械室6.62㎡ 倉庫東、西47.95㎡ 渡り廊下67.50㎡ テニスコート部室30.31㎡）

## 学生・生徒 志願者数推移

(令和6年5月1日現在)

短期大学		R2	R3	R4	R5	R6
子ども学科		141	254	178	147	145
キャリア育成学科		105	107	103	121	142
	オフィスワークコース	71	81	64	65	70
	介護福祉コース	34	26	39	56	72
計		246	361	281	268	287
高等学校		R2	R3	R4	R5	R6
		3,064	2,787	2,885	2,894	2,770
中学校		R2	R3	R4	R5	R6
		544	554	569	546	593

## 学生・生徒 在籍者数推移

### 短期大学

(令和6年5月1日現在)

区分	項目	R2	R3	R4	R5	R6
子ども学科	在籍生数	249	321	350	297	281
	収容定数	300	300	300	300	300
	充足率	83%	107%	117%	99%	94%
キャリア学科	在籍生数	187	188	184	183	202
	収容定数	200	200	200	200	200
	充足率	94%	94%	92%	92%	101%
オフィスワークコース	在籍生数	130	139	130	120	129
	収容定数	120	120	120	120	120
	充足率	108%	116%	108%	100%	108%
介護福祉コース	在籍生数	57	49	54	63	73
	収容定数	80	80	80	80	80
	充足率	71%	61%	68%	79%	91%
計	在籍生数	436	509	534	480	483
	収容定数	500	500	500	500	500
	充足率	87%	102%	107%	96%	97%

## 中・高等学校

(令和6年5月1日現在)

区分	項目	R2	R3	R4	R5	R6	
高等学校	在学生数	1,775	1,715	1,731	1,760	1,762	
	収容定数	1,704	1,680	1,690	1,700	1,700	
	充足率	104%	102%	102%	104%	104%	
中学校	在学生数	605	586	597	595	597	
	収容定数	560	570	570	570	570	
	充足率	108%	103%	105%	104%	105%	
計	在学生数	2,301	2,328	2,328	2,355	2,359	
	収容定数	2,250	2,260	2,270	2,270	2,270	
	充足率	102%	103%	103%	104%	104%	

## 学生・生徒 進路状況

### 短期大学

卒業者・進学者・就職者数

(令和7年5月1日現在)

	子ども学科	キャリア育成学科		合計	摘要
		オフィスワーク	介護福祉		
卒業者	134	56	32	222	
就職希望者	129	51	32	212	
就職決定者	129	48	30	207	
未内定者	0	3	2	5	
進学者	1	0	0	1	中部楽器技術専門学校
その他	4	5	0	9	家事従事 アルバイト等

過去3ヶ年の公務員試験合格者

●子ども学科

市町名	職種	現役学生			卒業生			計		
		R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
津市	保育士	3	7	3	0	3	4	3	10	7
	幼稚園教諭	1	0	0	3	0	0	4	0	0
四日市市	保育士・幼稚園教務	3	1	5	0	1	0	3	2	5
伊勢市	保育士	2	3	3	0	0	0	2	3	3
松阪市	保育士・幼稚園教諭	6	2	4	0	0	0	6	2	4
鈴鹿市	保育士・幼稚園教諭	3	2	0	0	0	5	3	2	5
桑名市	保育士・幼稚園教諭	0	0	1	0	0	0	3	2	1
亀山市	保育士・幼稚園教諭	1	1	0	0	1	1	1	2	1
鳥羽市	保育士	1	0	2	0	0	0	1	0	2
志摩市	保育士・幼稚園教諭	0	0	1	1	0	0	1	0	1
熊野市	保育士（事務職）	2	1	0	0	0	0	2	1	0
伊賀市	保育士	0	0	1	0	1	0	0	1	1
名張市	保育士・幼稚園教諭	0	0	0	0	0	0	0	0	0
朝日町	保育士	0	0	1	0	0	0	1	0	1
川越町	保育士・幼稚園教務	1	0	0	0	0	0	1	0	0
東員町	保育士・幼稚園教務	0	1	0	0	0	1	0	1	1
菰野町	保育士・幼稚園教務	0	1	0	0	0	1	0	1	1
多気町	保育士	1	0	0	0	0	0	1	0	0
明和町	保育士・幼稚園教務	0	0	2	0	0	0	0	0	2
大台町	保育士	0	0	1	0	0	0	0	0	1
玉城町	保育士	0	1	1	0	0	0	0	1	1
度会町	保育士	2	1	0	0	0	0	2	1	0
大紀町	保育士	1	2	0	1	0	0	2	2	0
御浜町	保育士	1	0	0	0	0	0	1	0	0
紀宝町	事務職（保育士）	1	0	0	0	0	0	1	0	0
	事務職（一般）	0	1	0	0	0	0	0	1	0
三重県	保育士	1	0	0	0	0	0	1	0	0
	警察事務	0	0	0	0	0	1	0	0	1
その他県外	保育士・幼稚園教諭	0	0	0	0	1	0	0	1	0
計		30	24	25	5	7	13	35	31	38

●キャリア育成学科 オフィスワークコース

採用試験名	職種	現役学生			卒業生			計		
		R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
県・市町（県外含む）	行政	0	1	2	0	1	0	0	2	2
県	警察事務	0	1	1	0	1	0	0	2	1
県	警察官	1	2	1	0	0	0	1	2	1

●キャリア育成学科 介護福祉コース

採用試験名	職種	現役学生			卒業生			計		
		R4	R5	R6	R4	R5	R6	R4	R5	R6
県・市町	介護職	0	0	1	0	0	0	0	0	1

主な就職先・配属先

(令和7年5月1日現在)

子ども学科	高田幼稚園、津西幼稚園、津田幼稚園、道伯幼稚園、えがお保育園、志登茂保育園、久居保育園、松阪仏教愛護園、わかすぎ第二保育園、風の丘認定こども園、高岡ほうりん認定こども園、認定こども園ゆい保育園、ゆたか認定こども園、里山学院、多気郡地域児童発達支援センター、市町立幼稚園・保育園・認定こども園 他
キャリア育成学科 オフィスワーク	百五銀行、北伊勢上野信用金庫、百五ビジネスサービス、エフテック、美和ロック、パイロットインキ、ヨシザワ、サイネックス、日本陸送、日産部品東海販売、三重トヨペット、三重トヨタ自動車、三重いすゞ自動車、伊勢湾倉庫、ALSOK 三重総合警備保障、丸之内ビル管理、岡波総合病院、鈴鹿回生病院、四日市市職員、三重県警察 他
介護福祉	あけあい会、永甲会、慈童会、高田福祉事業協会、伯壽会、佐藤病院、緑の風 他

高等学校

卒業者

(令和7年4月5日現在)

		男	女	計
三年制	I類	98	124	222
	II類	80	89	169
六年制		97	86	183
計		275	299	574

進学合格者のべ数・就職者数

		三年制				小計	六年制		小計	合計
		I類		II類			現	卒		
		現	卒	現	卒					
四年制大学	国立	1	0	25	2	28	61	13	74	102
	公立	0	0	11	0	11	14	7	21	32
	私立	188	5	294	11	498	283	76	359	857
文部科学省所管外		0	0	3	0	3	2	3	5	8
海外		0	0	0	0	0	0	0	0	0
短大	公立	3	0	3	1	7	0	0	0	7
	私立	16	0	4	0	20	0	0	0	20
専門学校		43	1	5	1	50	0	0	0	50
就職		7	0	0	0	7	0	0	0	7
合計		258	6	345	15	624	360	99	459	1083

主な進学先

(令和7年4月5日現在)

国公立大学 132名		(医学科 28)					
秋田大学 (医学科 1)	2	筑波大学 (医学科 1)	2	浜松医科大学 (医学科 2)	2	名古屋大学 (医学科 1)	4
三重大学 (医学科 16)	39	大阪大学 (医学科 1)	7	札幌医科大学 (医学科 1)	1	名古屋市立大学 (医学科 1)	7
東京大学	4	京都大学	2	一橋大学	1	富山大学	5
金沢大学	2	静岡大学	1	静岡県立大学	2	愛知教育大学	2
滋賀大学	4	大阪公立大学	5	神戸大学	3	島根大学	2
広島大学	3	徳島大学	2	高知大学	2	九州大学	2
私立大学 857名		(医学科 33)					
酪農学園大学	1	国際医療福祉大学	1	自治医科大学	4	青山学院大学	4
北里大学	8	慶応義塾大学	8	駒沢大学	3	芝浦工業大学	2
順天堂大学	1	上智大学	2	中央大学	10	専修大学	4
東海大学	2	日本医科大学	2	成蹊大学	2	東京理科大学	8
日本大学	8	法政大学	3	明治大学	9	早稲田大学	13
金沢工業大学	4	愛知大学	29	愛知医科大学	5	愛知学院大学	30
愛知工業大学	11	金城学院大学	8	大同大学	6	中京大学	40
中部大学	18	名古屋外国語大学	10	名古屋学院大学	16	南山大学	31
藤田医科大学	11	名城大学	34	皇學館大学	40	鈴鹿医療科学大学	54
京都産業大学	15	京都薬科大学	3	同志社大学	29	同志社女子大学	4
佛教大学	2	龍谷大学	17	立命館大学	62	大阪学院大学	4
大阪体育大学	5	関西大学	10	近畿大学	30	摂南大学	1
関西学院大学	30	大和大学	3	岡山理科大学	2	帝塚山大学	3
短期大学 27名							
高田短期大学	14	三重短期大学	7	名古屋文化短期大学	1	愛知学院短期大学部	1
専修学校 50名							
三重中央看護学校	4	松阪看護専門学校	3	津看護専門学校	3	三重看護専門学校	6

## 事業実績の概要

### 理事会・評議員会・監事会・内部監査委員会の開催状況

令和6年度は高田学苑寄附行為に基づき、計4回の理事会、3回の評議員会を開催しました。また、高田学苑では私立学校に義務付けられている監査法人及び監事の監査に加え、内部監査委員による監査を行い、学校法人におけるガバナンスが適切に機能しているか、外部及び内部から監督・指導を受けています。令和6年度に行われた各会の開催日と議題は以下になります。

理事会	第1回	令和6年 5月28日(火)	・令和5年度決算(案)の承認について
	第2回	令和6年 5月28日(火)	・令和5年度決算(案)の承認について ・学校法人高田学苑寄附行為の改正(案)について
	第3回	令和6年11月 5日(火)	・令和6年度第1回収支補正予算(案)について
	第4回	令和7年 3月25日(火)	・令和6年度第2回収支補正予算(案)について ・令和7年度収支当初予算(案)について ・高田短期大学名誉教授の称号授与について ・学校法人高田学苑勤務規則の一部改正(案)について ・学校法人高田学苑給与規程の一部改正(案)について ・育児休業・介護休業等に関する規定の一部改正(案)について ・高田高等学校学則の一部改正(案)について ・高田中学校学則の一部改正(案)について
評議員会	定 時	令和6年 5月28日(火)	・令和5年度決算(案)の承認について ・任期満了に伴う理事の選任について ・任期満了に伴う監事の選任について ・学校法人高田学苑寄附行為の改正(案)について
	臨 時	令和6年11月 5日(火)	・令和6年度第1回収支補正予算(案)について
	定 時	令和7年 3月25日(火)	・令和6年度第2回収支補正予算(案)について ・令和7年度収支当初予算(案)について
監事会	決算期	令和6年 5月24日(金)	・令和5年度短期大学及び中高等学校教学監査 ・令和5年度事業実績報告 ・令和5年度決算審査関係 ・質疑応答
	上半期	令和6年10月25日(金)	・令和6年度短期大学及び中高等学校概要報告 ・令和6年度第1回補正予算書及び現預金状況 ・令和6年度事業実績報告(中間) ・質疑応答及び実査
内部監査委員会	第1回	令和6年 5月22日(水)	・令和5年度短期大学及び中高等学校教学監査 ・令和5年度事業実績報告 ・令和5年度決算概要報告 ・質疑応答
	第2回	令和6年10月23日(水)	・令和6年度短期大学及び中高等学校概要報告 ・令和6年度事業実績報告(中間) ・現金、預金及び有価証券の状況 ・学苑管理運営等について

### 監査法人監査報告

監査法人監査		監査法人名：五十鈴監査法人
4月 2日(火) 現金、通帳、証書の実査		9月13日(金) 令和6年8月までの取引記録
5月17日(金) 令和5年度決算監査①		12月 3日(火) 令和6年11月までの取引記録
5月21日(火) 令和5年度決算監査②		1月22日(水) 令和6年12月までの短大取引記録
6月 3日(月) 令和5年度決算監査③		3月14日(金) 令和7年2月までの取引記録

## 危機管理への取り組み

### 非常食等の備蓄

東海地域では、近い将来に南海トラフ地震が発生することが懸念されています。自然災害が全国各地で年々増加傾向にあり、日頃からの備えに対して学苑全体で取り組みを進めています。

この「白い小箱運動」は単なる非常食等の備蓄に留まらず、小箱の詰め込み・搬入作業を行う障がい者の方々の就労支援や非常食推進機構と締結した「災害用物資を活用した防災活動に関する協定」に基づき、学生・生徒が卒業時に自身で購入した白い小箱を寄付することで地域や食料物資を必要とする海外へ援助を行う「白い小箱運動」に参加する等の社会貢献活動として意義のあるものとなっています。

本年度は、日本非常食推進機構を通じて社会福祉法人三重県厚生事業団へ64個、津市健康福祉部へ150個、松阪市こども未来課へ350個、三重県子ども福祉部へ210個、鈴鹿市へ70箱の合計844個の寄付を行い、各団体・行政より障害者施設での支援や備蓄教育、児童養護施設及び生活困窮者、福祉施設への支援品として活用されます。



## 夏期教職員研修会

教職員研修会が令和6年8月20日（火）高田中・高等学校講堂において、教職員約200人を対象に開催しました。

### 第1部 講演 「ハラスメントのない職場づくりのために」

三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」 前所長 荻原 くるみ 氏

2020年6月にパワハラ防止法が施行され、2022年4月から中小企業においても「パワハラ防止のための措置」を講じることが義務化となりました。学校現場においても様々なハラスメントが発生してきており、本学としてもハラスメント防止の観点から、何がコンプライアンス違反になるのかを理解し、ハラスメントの知識について理解を深める場として、三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」の前所長である荻原くるみ氏に講演を行っていただきました。講演の中で荻原氏は「相手が不快、嫌気持ちになるかどうか、ハラスメントを疑うスタート地点。決めるのは言った側ではない」と強調。「同じ言動でもハラスメントになるかどうかは、相手との人間関係によって変わってくる。特に学校という環境では生徒の話を聞くときに、否定したり遮ったりせず最後まで話を聴くことを心掛けてほしい」と話されました。パワハラやセクハラなどのさまざまなハラスメント事例をもとにどのような行為がハラスメントに該当するのかを確認することで、職場内での上司・同僚・生徒とのコミュニケーションについて参考となる講演でした。



### 第2部 講演 「人権が尊重される社会をつくるために

～人権感覚を磨き、差別解消に向けた取組を積極的に行いましょう～

高田中・高等学校 教諭 鈴木 巧 氏

三重県内の学校に勤務する教員が、購入した土地が被差別部落にあったため業者に契約の解除を求めたとして、県は「包括的に差別を禁止する条例」を初めて適用し、令和6年2月に当該教員へ差別をやめるよう促す「説示」を行っていた件について、三重県教育委員会はこの事案を学校教育に対する信頼を大きく損なうものである事案として重く受け止め、公私を問わず全ての教

職員が率先して人権問題の解消に積極的な役割を果たす責務があることを自覚するよう取り組みを進めていくとする発表を行いました。

その取り組みである県の人権研修に本学の鈴木教諭が参加し、その研修内容を学内共有することで高い人権意識の醸成の一助となるよう発表を行っていただきました。今回問題となった部落差別にスポットを当て、差別とは何かを正しく理解し、そのうえで「差別を解消する側に立った行動ができるかどうか」、「確かな知識理解に基づく人権感覚を身に付けることによる人権意識の向上」、「人権侵害をされている人が意見や思いを届けられる環境づくり」という3つの視点を踏まえ、自身の偏見や差別に出会った経験や自分の差別心に気づいた経験等を振り返り、グループワーク形式で意見交換することで人権感覚を高めると共に教職員同士の交流を深めることにつながった研修となりました。



## 教職員の健康管理体制

### 健康診断・任意検診

本学は平成23年度より夏期休暇期間を利用し、学校保健安全法、結核予防法、労働安全衛生法などで定められた検査項目を遵守した健康診断を実施しています。令和6年度は8月2日（金）、5日（月）、6日（火）、7日（水）の4日間での検診を実施し、教職員217名が受診しました。

例年任意検診の検査項目を追加しており、令和6年度は胃リスクを判定するペプシノーゲン検査と脳や心筋梗塞リスクを判定するロックスインデックス検査を追加しました。

検査結果をもとに産業医である岩崎病院が教職員の健康を確保する必要があると認めた場合は、本学に対し教職員の健康管理等について必要な勧告がなされます。



### ストレスチェック

労働安全衛生法の改正により平成27年12月以降、メンタルヘルス不調を未然に防ぐ目的から事業所に義務付けがなされました。教職員はストレス判定を行う調査票の質問項目に回答することで自身のストレス度合いがわかります。ストレスチェックを行うことで高ストレス者を抽出し、メンタルヘルス不調を未然に防止する一時予防を講じることでメンタル不良者の発生を防ぎ、より働きやすく健康的な職場へと改善することを目指します。今年度は6月10日（月）より1ヶ月間、ストレスチェックをウェブ上で実施しました。事業所としては検査結果を通知された教職員の希望に応じて医師による面接指導の実施を行う必要があります。またその結果、医師の意見を聞いた上で、必要な場合には、作業の転換や労働時間の短縮といった適切な措置を講じる責任があります。昨今のコロナ禍への対応や教職員へ求められるものが多様化するなかで教職員を守る一助となるようストレスへの気づきを促すとともに職場環境の分析と改善に繋げていきます。

## インフルエンザ予防接種

平成28年度から毎年実施しております学苑内での予防接種ですが、今年度も三重県健康管理事業センターに来校いただき、11月15日（金）、11月19日（火）の2日間にて実施しました。接種希望者111名に実施し、予防接種の費用についてはこれまで同様に学苑が一部負担となります。

## 教職員の表彰

特別表彰	
中・高等学校	10月 4日（水） 計 2名
優良教職員	教諭 1名 三重県私学総連合会 優良教職員受賞による

永年勤続表彰			
短期大学	11月 6日（月）	計 5名	
25年 勤続	1名	15年 勤続	2名
10年 勤続	4名		
中・高等学校	10月 4日（水）	計 20名	
35年 勤続	4名	30年 勤続	2名
25年 勤続	1名	20年 勤続	2名
15年 勤続	8名	10年 勤続	3名

## 教職員の異動状況

		採用			退職	
		新規採用	再雇用	任用替	再雇用	完全退職
短期大学	教授		1		1	
	准教授	1				
	講師	1		2		
	助教	1				
	本務職員	1			1	1
	特任教授					1
	特任准教授					
	特任講師					
	嘱託職員	2				3
非常勤職員						
中・高等学校	教諭	2		4	6	2
	本務職員			1	1	
	講師		1			
	講師嘱託	4		1		
	ALT					
	嘱託職員					2
非常勤講師	6	4			7	

## 給付型奨学金・授業料等減免（助成）

高田学苑では、保護者や学生の経済的な負担を軽減する目的から、各種奨学金・授業料等減免制度を設けています。なお、これらの奨学金は給付型であり、すべて返済不要です。

高田短期大学介護福祉士就労予定者奨学金	
対 象	キャリア育成学科介護福祉コース学生
目 的	建学の精神に照らし、特に学業・人物に優れた学生で卒業後介護施設に就職する予定であるすべての学生(外国人留学生を除く)を支援する。
決定者	49名 (1年生30名、2年生19名)
奨学金額	4,900,000円 (1・2年生ともに年額10万円を給付)
高田短期大学奨学金私費外国人留学生授業料等減免措置	
対 象	高田短期大学に在学する私費外国人留学生
目 的	授業料・施設設備整備費・教育充実費等の経済的負担を減免する。
決定者	15名(減免率については学業成績(GPA), 日本語能力試験(JLPT)に基づき決定)
奨学金額	2,896,500円

## 短期大学入学金免除制度

高田高等学校を卒業し高田短期大学に入学する場合、入学金（28万円）が免除される制度もあります。過去3カ年の高田高等学校からの進学者数は以下のとおりです。

	令和4年度入学	令和5年度入学	令和6年度入学
人 数	28名	36名	40名